

2023 年度

事業報告書

一般財団法人 北陸経済研究所

2023 年度 事業報告

自 2023 年 4 月 1 日
至 2024 年 3 月 31 日

1. 事業活動の概要

北陸地区の経済は、コロナの5類移行による活動制限の緩和に伴う経済活動の再開や需要の増大、産業界での賃上げの実施などにより、2023年度の経済成長率は実質+1.0%（全国+1.3%）の改善が見込まれます（当研究所2023年11月末試算）。今年に入り、株価はバブル期の最高値を更新し、北陸新幹線敦賀延伸による経済効果も期待されますが、一方で円安や資源高を背景とした物価上昇や収束がみられないウクライナや中東情勢、1月に発生した能登半島地震の影響、また11月には米国大統領選挙を控えており、予断を許さない状況にあります。

当研究所では、これらが北陸の経済に与える影響や各産業の動向について、各種統計やヒアリング、アンケートなどを通じて北陸経済の最新動向の把握に努めるとともに、急速に進展をみせているデジタル化や、ジョブ型・副業などの働き方の変化、生産年齢人口減少の克服に向けて重要なキーワードとなる「生産性の向上」、ESG・脱炭素などを調査研究の主要テーマとしてまいりました。

当研究所の働き方につきましても、各種業務のデジタル化やテレワークの定着など、生産性の向上と働き方の多様化を図っております。

以下、事業内容につきましてご報告いたします。

2. 研究所の体制

（1）当研究所の職員数（出向者を含む・パートは除く）は、2024年3月末で11名となっております。

	2024 年 3 月末	前年度末比
特 別 研 究 員	0 名	▲ 1 名
部 長	1 名	0 名
担 当 部 長	1 名	0 名
総 括 研 究 員	1 名	0 名
主 任 研 究 員	5 名	+ 1 名
研 究 員	1 名	0 名
事 務 局 員	2 名	0 名
合 計	11 名	0 名

(2) ご後援いただいております賛助会員の2024年3月末の状況は次のとおりです。

	賛助会員数（口数）	増減		賛助会員数（口数）	増減
2014年度	2,697先（3,224口）	+6（+5）	2019年度	2,783先（3,280口）	-27（-32）
2015年度	2,731先（3,248口）	+34（+24）	2020年度	2,729先（3,214口）	-54（-66）
2016年度	2,767先（3,283口）	+36（+35）	2021年度	2,605先（3,061口）	-124（-153）
2017年度	2,787先（3,296口）	+20（+13）	2022年度	2,561先（3,014口）	-44（-47）
2018年度	2,810先（3,312口）	+23（+16）	2023年度	2,530先（2,981口）	-31（-33）

（参考）購読会員は2024年3月末現在418先です。

(3) 基本財産は、一般財団法人への移行にあたり10百万円（大口定期預金）設定しました（2012年3月29日開催の理事会、評議員会決議による）。以後変動はありません。

(4) 2023年度は、場所や時間にとらわれない多様な働き方を追求すると同時に、業務の効率化・生産性の向上を目指し、研究所内の業務のデジタル化に取り組んでまいりました。具体的には、クラウド校正ソフトやAI文字起こしツールを活用するとともに、ペーパーレス・マニュアル化・属人化の排除など業務量の削減・自動化・効率化を目指し、さらなる生産性の向上と働きやすいオフィスづくりに努めております。

3. 調査研究事業

2023年度の自主調査研究においては、「北陸の経済見通し（推計）」、「北陸の産業天気図」、「経営者の景気見通し（BSI）」などの定例調査のほか、多様化する人財やアントレプレナーシップをもった人財の育成、北陸の人手不足の要因とその処方箋を探る（地方シンクタンク協議会論文アワード総務大臣賞受賞）、スマート農業の現状と課題、北陸におけるMaaSの現状と普及に向けた課題、SDGs目標達成のためのポジティブ・インパクト・ファイナンス、さらに北陸新幹線敦賀開業をテーマにシリーズとして掲載するなど、さまざまな分野にスポットをあてた調査を行いました。

このほか海外の情報をお伝えする「海外便り」、各大学などの研究シーズを紹介する「産学連携」コーナー、分析データをもとにした「タイ経済最新情報」に加え、「経営コーナー」では、DXを成功させるための重要なポイントなど企業経営に有用なテーマをシリーズで掲載し、さらに金融教育への一助として「金融リテラシー講座」の連載も開始しております。

また、新春対談として、福島国際研究教育機構理事長で金沢大学特別顧問でもある山崎光悦氏との対談内容を「人材育成の秘訣と日本復興への課題」と題して掲載いたしました。

なお、調査・研究の具体的な内容は以下のとおりであります。

（１）経済、産業、地域活性化に関する調査研究

掲載号	テーマ
5月号	北陸の産業天気図
	多様化する人材に活躍してもらうためのこれからの人材育成とは？ 第3回 自社での育成だけでなく外部人材の積極的な活用を
6月号	2023年度 新入社員意識調査の結果から
7月号	再起動 北陸新幹線 第4回 沿線住民の意識から見た金沢開業に対する評価と敦賀開業への期待
	SDGsの目標達成に貢献するポジティブ・インパクト・ファイナンス
8月号	北陸のBSI 経営者の景気見通し
	北陸の人手不足 ～ その正体と処方箋を探る (地方シンクタンク協議会 総務大臣賞受賞)
9・10月号	最新技術が農業を変える ～ スマート農業の現状と課題
	アントレプレナー人財育成プログラムから見てきた 「富山の未来を支える」人財づくりとは
11月号	北陸の産業天気図
1月号	2023年度・2024年度 北陸の経済見通し
2月号	北陸のBSI 経営者の景気見通し
	再起動 北陸新幹線 第5回 北陸新幹線沿線の観光資源に対する認知度と訪問意向
3・4月号	北陸におけるMaaSの現状と普及に向けた課題

（２）トップインタビュー

掲載号	テーマ
6月号	今までもこれからも モビリティ・サービスの提供を通して故郷（ふるさと）富山に貢献していく トヨタモビリティ富山株式会社 代表取締役社長 品川 祐一郎氏
11月号	「人の和」の理念の下 高品質で世界の繊維産業を支えるグローバルニッチトップ企業 高山リード株式会社 代表取締役社長 高山 徹氏
3・4月号	目前に迫る北陸新幹線福井・敦賀開業 ”100年に1度の好機”を逃さず福井の魅力向上を目指す 福井商工会議所 会頭 八木 誠一郎氏

（３）新春対談

掲載号	テーマ
1月号	人材育成の秘訣と日本復興への課題 福島国際研究教育機構 理事長 国立大学法人金沢大学 特別顧問 山崎 光悦氏

（４）企業経営に関する調査研究

<チャレンジ>

掲載号	企 業 名／業 種・テーマ
5月号	チャンスメーカー株式会社（福井県坂井市）／構造不況業種(印刷業)からの脱却
6月号	富山県ロケーションオフィス（富山県富山市）／ロケ誘致で地元活性化
7月号	株式会社ドローンショー・ジャパン（石川県金沢市） ／ドローンショーの業界トップ
8月号	株式会社ドラフト（福井県あわら市） ／スタイリスト付きメンズファッションサイト
9・10月号	有限会社片口屋（富山県射水市）／老舗（醤油店）が続けるあくなき挑戦
11月号	株式会社タケノ（石川県野々市市）／確かな技術で建物を風雨から守る
12月号	ジャパンポリマーク株式会社（福井県福井市）／熱転写ラベルのトップ企業
1月号	SCOP TOYAMA（富山県富山市）／富山県のスタートアップ・創業支援の拠点
2月号	株式会社ウフフ（石川県金沢市）／ママたちの手作りドーナツ専門店
3・4月号	株式会社ハピラインふくい（福井県福井市）／ふくいとあしたの架け橋に。

<企業紹介>

掲載号	企 業 名
5月号	株式会社アム（石川県津幡町）／すべての人に快適なトイレを
6月号	株式会社 Hacoa（福井県鯖江市） ／越前漆器から木材雑貨まで ～「ものづくり」を通して「人づくり」へ
7月号	富美菊酒造株式会社（富山県富山市）／日本酒の限りない可能性を模索

8月号	株式会社オンワード技研（石川県能美市） ／手作業を武器として成長分野を創り出す「土台」をコーティングする
9・10月号	株式会社シャトル（福井県越前市） ／織機部品から各種木工品・学習教材へ ～挑戦を続けて時代を切り拓く
11月号	開湯 100 周年 宇奈月温泉（富山県黒部市）／キャニオンルート一般開放
12月号	株式会社山岸製作所（石川県金沢市） ／オフィススタイル・ワークスタイルをリードする
1月号	増永眼鏡株式会社（福井県福井市） ／時代の変化を見据え、「常に良いめがねをつくることを念願する」
2月号	株式会社ハナガタ（富山県富山市） ／「開発力」で顧客の課題解決に貢献する包装機械のスペシャリスト
3・4月号	アステナミネルヴァ株式会社（石川県珠洲市） ／「珠洲だからこそできる」サステナブルな地域社会の創造

（５）受託調査

富山県をはじめとして各自治体、経済・産業の調査研究機関・団体などから次のとおり 8 件の調査を受託しました。

No.	受 託 先	事 業 名
1	内閣府（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング）	景気ウォッチャー調査に伴う作業・分析（北陸地域）
2	富山県	文化庁「文化芸術振興費補助金（文化芸術創造拠点形成事業）」による補助を受けて行う事業の実施に伴う経済波及効果分析調査業務
3	富山県	事業系食品ロス・食品廃棄物等実態調査業務
4	富山市	富山市高齢者総合福祉プラン策定業務
5	北陸経済連合会	「第 5 次中期アクションプラン」の実施に係る助言、データベース「データで見る北陸」の更新・掲載
6	北陸経済連合会	北陸における接続型都市圏の形成による地域力向上に関する調査業務
7	富山県	富山県ひとり親家庭等実態調査業務
8	富山県	富山県ものづくり産業未来戦略改定支援業務

4. コンサルティング・講師派遣・研修業務など

(1) コンサルティング

「経営相談」には日常的に対応し、実績は 30 件となりました。経済動向、業界動向などについて、担当職員が対応しました。

(2) 講師派遣

A. 講演講師派遣

賛助会員企業や団体、地方公共団体から講演講師の派遣依頼があり、役職員が積極的に出向きました。派遣回数は 3 回となりました。

また、銀行の支店・取引先親睦会が企画した経済講演会への講演講師の派遣を 3 回行いました。

講演テーマとしては、北陸の経済見通しや北陸新幹線敦賀延伸などのテーマがありました。

B. 研修講師派遣

富山県立大学の講義において非常勤講師などの派遣依頼を受け、合計 14 回にわたり講師を務めました。

(3) 新春講演会の開催

開催日	演題	講師	参加者数
2 月 22 日	経営者へ贈る トランスフォーメーションの最前線 ～DXからSXへ	富士通株式会社 シニアエバンジェリスト 西本 伸一氏	約 100 名

会場およびオンライン参加のハイブリッド型で開催いたしました。

(4) 北経研セミナーの開催 64 回 1,314 名（オンライン受講率 38.4%）

- ・2023 年度は新入社員研修と金沢会場を除いた大部分のセミナーを会場とオンライン LIVE 併用のハイブリッドで開催しました。
- ・新講座として 19 講座を開催するなど、ニーズに合ったテーマに入れ替えを行っております。
- ・新型コロナウイルス感染症が 2023 年 5 月から 5 類感染症に移行したこともあり、会場受講率がオンライン受講率を上回りました。
- ・受講者数は前年度比 2.4%増加し、コロナ禍前のピーク水準に回復しております。

(受講者数；人)

No.	開催日	タイトル	開催地	形式	受講者数
1	3月22日～ 6月21日	新入社員研修オンデマンド	Web	オンデマンド	20
2	4月3・4日	新入社員研修（2日間コース）	富山	会場	54
3	4月5・6日	新入社員研修（2日間コース）	金沢	会場	47
4	4月7日	プロフェッショナル・リーダーセミナー	金沢	会場	14
5	4月10・11日	新入社員研修（2日間コース）	福井	会場	18
6	4月13日	ハラスメント予防マネジメントセミナー	富山	ハイブリッド	9
7	4月18日	製造業新入若手社員向け「ものづくり」基本研修	富山	ハイブリッド	30
8	4月21日	営業担当者のための基本講座	金沢	会場	23
9	5月11日	基本から学ぶ 簿記と経理の基礎知識	富山	ハイブリッド	12
10	5月12日	管理職のためのレベルアップセミナー	富山	ハイブリッド	26
11	5月16日	営業アシスタントスキルアップ研修	富山	ハイブリッド	16
12	5月24日	社会人基礎力養成講座	富山	ハイブリッド	9
13	5月25日	管理職・リーダーのための「報連相」徹底セミナー	金沢	会場	13
14	5月30日	相手を気づかうビジネスコミュニケーション研修	Web	オンライン	15
15	6月6日	5Sの基本～導入・展開の進め方を学ぶ	富山	ハイブリッド	12
16	6月7日	仕事が速い人のタイムマネジメント術	富山	ハイブリッド	40
17	6月14日	中堅社員に求められる役割とスキル	金沢	会場	18
18	6月15日	明日から輝く管理職になる 管理職の基礎・基本	金沢	会場	25
19	6月20日	採用から退職までの法律知識と労働法・労務管理の基礎知識	Web	オンライン	19
20	6月22日	「ロジカル・シンキング」超入門講座	富山	ハイブリッド	28
21	6月27日	誰でもできる！成果を上げる会議の進め方	富山	ハイブリッド	19
22	7月4日	問題解決型提案営業 スキルアップセミナー	富山	ハイブリッド	18
23	7月11日	若手・中堅社員のための「報・連・相」徹底セミナー	金沢	会場	19
24	7月19日	プレイングマネジャーとしての部長・課長の役割と仕事術	福井	ハイブリッド	19
25	7月21日	女性社員キャリアデザインセミナー	Web	オンライン	6
26	7月25日	基礎から学ぶ 資金繰りの入門講座	富山	ハイブリッド	10
27	7月27日	理想のリーダー像を目指すキャプテンシー研修	富山	ハイブリッド	25
28	8月2日	「わかりやすく、簡潔に話す技法」講座	金沢	会場	11
29	8月23日	新任管理職研修	富山	ハイブリッド	29
30	8月25日	ヒューマンエラー対策の進め方	Web	オンライン	8
31	8月30日	新入・若手社員フォローアップ研修（富山会場）	富山	会場	49
32	8月31日	新入・若手社員フォローアップ研修（金沢会場）	金沢	会場	34
33	9月1日	新入・若手社員フォローアップ研修（福井会場）	福井	会場	8

No.	開催日	タイトル	開催地	形式	受講者数
34	9月6日	人事労務担当者が知っておくべき法律知識と労務管理の重要ポイント	富山	ハイブリッド	21
35	9月7日	班長研修 部下指導力コミュニケーション力を強化し、実力と魅力のあるリーダーになる！	金沢	会場	14
36	9月15日	決算書の読みこなし方と経営分析の基本	富山	ハイブリッド	14
37	9月20日	プレゼン資料作成の基本から図解までを学ぶ	Web	オンライン	12
38	9月26日	中堅社員スキルアップ講座	富山	ハイブリッド	41
39	10月5日	管理職・リーダーに必要な「4つの仕事力」セミナー	富山	ハイブリッド	41
40	10月12日	自社に合った教育体系設計の考え方と運用法セミナー（半日コース）	Web	オンライン	17
41	10月20日	強い会社を創る経営幹部養成講座	富山	ハイブリッド	18
42	10月24日	管理職に必要なマネジメント強化研修	富山	ハイブリッド	18
43	10月26日	中堅女性社員のためのスキルアップセミナー	富山	ハイブリッド	28
44	11月8日	年末調整の基礎実務（半日コース）	Web	オンライン	8
45	11月10日	レゴ®シリアスプレイ®を活用したチームビルディング研修	金沢	会場	6
46	11月14日	部下育成指導力向上セミナー	富山	ハイブリッド	27
47	11月16日	問題発見・課題解決研修	富山	ハイブリッド	36
48	11月28日	「商談の基本」を学ぶ	富山	ハイブリッド	11
49	12月6日	管理職としての「5大任務」実践研修	富山	ハイブリッド	35
50	12月7日	職場の人事諸問題にいかに対応するか	Web	オンライン	12
51	12月12日	甘えを捨てよう！ 中堅社員	金沢	会場	36
52	12月15日	女性リーダーキャリアアップセミナー	富山	ハイブリッド	20
53	1月19日	法人税の重要項目と健全な節税対策	富山	ハイブリッド	19
54	1月23日	アンガーマネジメント研修(半日コース)	Web	オンライン	13
55	1月25日	在庫管理の基本と実践	Web	オンライン	9
56	2月6日	Power Point スキルアップ研修	Web	オンライン	8
57	2月7日	取締役の義務と責任	Web	オンライン	13
58	2月14日	ビジネス文書・ビジネスメール徹底トレーニング	Web	オンライン	21
59	2月21日	営業力「超」強化セミナー	富山	ハイブリッド	18
60	3月1日	リーダーに期待したい部下育成「令和の人材育成術」	富山	ハイブリッド	24
61	3月7日	新入社員指導担当者・先輩社員のためのOJT・メンター研修	富山	ハイブリッド	27
62	3月8日	女性のための「3つの仕事力」向上セミナー	富山	ハイブリッド	25
63	3月12日	心を動かす話し方とプレゼンテーション	富山	ハイブリッド	10
64	3月14日	新人・後輩指導スキルとビジネスマナー徹底講座	富山	ハイブリッド	9
	計				1,314

(5) オーダーメイド研修（企業内研修）の受託状況

- ・複数回開催型の年代別キャリアデザイン研修とプレゼンスキルアップ研修、伴走支援型の次期リーダー研修と業務改善実践研修を受託しました。
- ・人事考課者研修、OJT・メンター研修、ハラスメント研修等のニーズにも積極的に対応しました。
- ・企業内研修と公開セミナーをセットにしたオーダーメイドパック研修も受託しました。
- ・2023年度開催件数は6社・27回にのぼり、前年度比2割強の増収となっています。

(6) IoT 活用推進に向けての取り組み

～「IoT 活用推進フォーラム」の活動について

① 概要

2017年5月に当研究所を事務局として、IoTに関する手法や先進企業の取り組みなどを習得し、実証実験を実施することを目的とする「IoT 活用推進フォーラム」を設立しました。

- ② 会員数 北陸三県企業 27 社（富山県 24 社、石川県 2 社、福井県 1 社）
- 正会員 22 社
- サポート会員 3 社
- 賛助会員 2 社

③ 活動報告

A. 2023 年度総会開催

開催日 2023 年 6 月 16 日（金）

参加企業 19 社

B. セミナー開催実績

開催日	内容	テーマと講師	参加者
6 月 16 日 （金）	第 1 回 IoT 活用セミナー	【第一部】IoT 自社開発事例紹介 ～生産管理システム構築による稼働状況の適正把握と トレーサビリティ確保～ 昭北ラミネート工業株式会社 設備生産技術部係長 山崎雅樹氏 【第二部】IoT で電気料金対策を考えよう ～対策はデータ化から～ 北陸コンピュータ・サービス株式会社 情報サービス本部サービスコンダクト室 上席エキスパート 上杉弘氏 【第三部】登壇講師やIVI 教育リーダーを交えた座談会 ファシリテーター：CKD株式会社 デジタル戦略部	19 社 28 名

		デジタルビジネス開発Gグループリーダー IVI 教育普及委員会委員長 上岡洋介氏	
10月27日 (金)	第2回 IoT 活用セミナー &工場見学会	【講演】 「リッチェルでの 生産改革事例紹介」 株式会社リッチェル 生産本部 製造部 生産革新G係長 水野皓一郎氏 【工場見学】 株式会社リッチェル本社工場見学 【質疑応答・座談会】 ファシリテーター：株式会社リッチェル 生産本部 製造部 生産革新G係長 水野皓一郎氏	14社 25名

C. ワーキング開催実績

開催日	内容	テーマ	
9月22日 (金)	第1回 IoT ワーキング	「製造業のためのチャット GPT 活用講座」【入門編】 ・生成 AI、ChatGPT とは ・アウトプットの差を生むプロンプトとは ・ビジネスシーンでの使用例 ・注意事項・制約など	10社 10名
10月17日 (火)	第2回 IoT ワーキング	「製造業のためのチャット GPT 活用講座」【活用編】 ・ビジネスの場での活用 ・プログラミングコード生成 ・製造業での使用 ・使用例と可能性	8社 8名

D. 2023 年度運営委員会開催

開催日 2023 年 5 月 29 日 (月)
2024 年 2 月 9 日 (金)

(7) 委員等への就任

当研究所の役職員は国の機関や富山県はじめ県内各自治体などからの要請により、合計 19 の委員会などに委員を委嘱され、合計 30 回の会議に出席し、地域発展に向けての意見・提言を行いました。

5. 広報ほか

(1) 月刊誌「北陸経済研究」のデジタル発刊

月刊誌「北陸経済研究」は毎月 4,400 部を定期的に刊行しており、2024 年 2 月 25 日に発行しました 3・4 月合併号で 521 号となります。

なお、2021 年 3 月より月刊誌のデジタル発行を開始し、会員の皆様にはホームページ上から月刊誌過去 2 年分の全ページをご覧いただけるようになりました。

(2) 年刊「北陸三県会社要覧」

- ・ 2024 年版は 2,129 社（前年 2,136 社）を収録し 2 月に 3,300 部を発行いたしました。
- ・ 掲載用原稿入力にあつては、入力企業の利便性に配慮した Web システムの利用が 1,126 社（52.9%）（前年 1,109 社（51.9%））となりました。
- ・ 昨年に引き続きデジタルブックを作成し、賛助会員を対象にホームページ上から閲覧可能としました。

(3) デジタル戦略

ホームページを充実させるとともに、デジタル媒体による情報提供とサービス向上に努めました。

- ・ デジタルブックによる月刊誌発行（過去 2 年分閲覧可）
- ・ YouTube 公式動画チャンネルにて動画配信（解説動画等 129 本以上 3 月末）
- ・ 紙面に QR コードを掲載し、文字と動画のハイブリッドで
- ・ メールマガジンの配信（景気ウォッチャー調査、月刊誌発行案内、セミナー募集など）
- ・ ホームページに月刊誌記事の一部や概要・解説動画を無料公開

(4) マスコミへの対応

- ・ 月刊誌「北陸経済研究」を発行の都度、地元紙をはじめ各新聞記者との懇談会を催し、調査担当者がテーマに応じて研究結果を発表いたしました。
- ・ それらの調査研究に関する内容を中心に当研究所に関する記事が 53 回掲載されました。
- ・ マスコミからの取材・質問には 48 回対応し、それらの内容は、テレビニュースや新聞などで報道され、また業界誌などにも掲載されています。ちなみに、日経テレコンの検索結果にみる当研究所の報道件数は 104 件となっています。

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
件数	133	132	162	170	151	148	105	135	104

テレビ、ラジオへの出演依頼については 34 回対応いたしました。新幹線敦賀延伸、などについての出演依頼がありました。マスコミの取材・出演の主なものは以下の通りです。

4 月	北陸中日新聞	北陸の賃上げ状況と影響
	北日本新聞	富山県におけるインバウンド受入れの課題
5 月	読売新聞	北陸上場企業の 23/3 期決算について
	読売新聞	北陸電力の電気料金値上げによる影響
	北陸中日新聞	北陸上場企業の 23/3 期決算について
	チューリップテレビ	アフターコロナで変わる消費
	読売新聞北陸支社	増える自販機
	北日本新聞	富山県の住宅面積
6 月	チューリップテレビ	児童手当の拡大について
	チューリップテレビ	日用品値上げラッシュ
	チューリップテレビ	巣ごもり需要
	読売新聞金沢支局	北陸における工場増加
	毎日新聞	新幹線経済効果
	毎日新聞	新幹線関連
	チューリップテレビ	コロナ後に躍進している県内企業について
7 月	北日本新聞	富山空港の上海便再開
	北日本新聞	男性の育児休業
	K N B	富山県庁 H P 統合案件について
	中日新聞坂本支社長	情報交換
	北陸中日新聞	北陸の人手不足について
8 月	富山テレビ	富山空港の上海便再開
	K N B	猛暑による県内への影響（かき氷が好調）
	読売新聞	石川県プライム企業の今期業績
	北日本新聞	サブスク利用が広がっている背景
	K N B	H P 戦略について
	富山テレビ	地域経済状況等
	K N B	為替相場
	富山テレビ	為替相場
	K N B	流行る店舗なし販売
	B B T	ガチャガチャショップの流行について
	読売新聞	北陸の清酒製造業動向
9 月	NHK 富山放送局	ガソリン価格上昇への対応
	富山新聞	新幹線関連
	NHK 富山放送局	ガソリン価格上昇への対応
	朝日新聞北陸支社	新幹線関連
	北陸中日新聞	経済状況

10月	北陸中日新聞	PIF と SLL の違い
11月	チューリップテレビ	富山空港台湾便再開による経済効果
	富山テレビ	報道番組シンソウ富山出演 新幹線
12月	NHK 富山放送局	2024 年富山経済のポイント
	読売新聞	清酒製造業や伝統産業が化粧品製造に取り組む理由
	北日本新聞	株式市場
	北陸中日新聞	新幹線延伸
	富山テレビ	報道番組シンソウ富山出演 24 経済
1月	北日本新聞	能登半島地震の県内製造業への影響
3月	北日本新聞	サーキュラーエコノミーについて

(5) 図書

当研究所の所蔵図書数は27,189冊となっています。研究所での利用のみならず、賛助会員などの方の利用にも供されております。

また北陸銀行所蔵の企業年史を当研究所に移管し、既存の年史と合わせ計702冊のリストを北陸銀行本支店に公開し利用に供する体制も整えました。

以 上

2023年度事業報告附属明細書

2023年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成いたしません。